



小学校での英語の授業風景
(豊間根小 5年生)



佐藤忠暉議員

新指導要領

小学校教科書の分量の増加とは

理科、算数、外国語活動が増

質問 小学校教科書の分量が、理科と算数を中心に来春から大幅に増加するとう。文部科学省によると、この2教科については学校6日制時代の教科書と比べても5割増しということだ。「ゆとり教育」からの転換というより、取り組み次第では量押し込む戦後教育への先祖返りにもなりかねない。

岩船教育長 今回の文科省の学習指導要領の改訂では、我が国の子供たちの学力低下が懸念されたことから、

い。10年ほど前「ゆとり」路線のもとでは、過熱する受験競争を背景とする詰め込み式への反省から、学習内容を約3割削減した。来春からの増量分の内容はどのようなものか。

議員7人が一般質問

学校教育

教師の負担増に不安を覚える

県の指導・助言を得て円滑に

小中学校ともに全学年で、従来よりも週当たり1〜2時間多い授業時数が示された。このことから、教科書

も今まで使っていたものよりページ数が増えている。一例を挙げると、算数では基礎基本の反復練習、理科の実験観察、5・6学年の外国語活動などである。現在は移行措置として、算数や理科の補助教材、英語ノートなどを活用して学習している。

質問 来年度から小学校高学年の外国語活動（英語）が必修になるなど、教師の負担が増す中で、本来の教育課題に目が行き届かない事態は避けなければならぬと考えるが、教育委員会ではどのように対処しようとしているのか。また、教育委員会だけにまかせておいて安心してよいのか。不安はないのか問う。

岩船教育長 新学習指導要領を確実に実施していくため、各学校において、日課表の見直しや学校行事の精選、適切な指導計画作成などの作業を進めているところである。

教育委員会としても、過去の学習指導要領の改訂に取り組んだ経験を生かし、指導主事を中心に学校訪問や各種研修会を行い、その趣旨の徹底に努めるとともに、必要に応じて県教育委員会の指導・助言を求めるなど、新学習指導要領が円滑に実施されるよう取り組んでいく。